

議案第15号

朝来市辺地総合整備計画の策定について

朝来市の公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画を別紙のとおり定めたいので、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律(昭和37年法律第88号)第3条第1項の規定に基づき、議会の議決を求める。

令和8年2月25日提出

朝来市長 藤 岡 勇

提案理由要旨

朝来市の辺地における公共的施設の整備に対する財政上の特別措置を受けるため、朝来市辺地総合整備計画を策定しようとするものです。

# 朝来市辺地総合整備計画

(案)

令和8年3月

兵庫県朝来市

# 朝来市総合整備計画

兵庫県朝来市和田山町竹ノ内辺地  
(辺地の人口 226 人 面積 15.1 k m<sup>2</sup>)

## 1 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称 和田山町竹ノ内、内海、朝日
- (2) 地域の中心の位置 朝来市和田山町竹ノ内 1043 番地 1
- (3) 辺地度数 195 点

## 2 公共的施設の整備を必要とする事情

当辺地は、旧和田山町域に位置する世帯数 102 戸の地域である。

当辺地において、市道の道路改良、市道橋の橋梁補修を実施することにより、安全で快適な交通環境を確保しつつ事故防止を図る。

## 3 公共的施設の整備計画

令和 8 年度から令和 10 年度までの 3 年間

(単位 千円)

施設名	事業主体	事業費	財源内訳		一般財源のうち ち辺地対策事業債の予定額
			特定財源	一般財源	
市道和田竹ノ内線	朝来市	21,400		21,400	21,400
市道炭山谷線【炭山橋】	朝来市	28,000	16,170	11,830	11,700
合計		49,400	16,170	33,230	33,100

(別表第1)年次別計画表

市町名 朝来市

辺地名 和田山町竹ノ内辺地

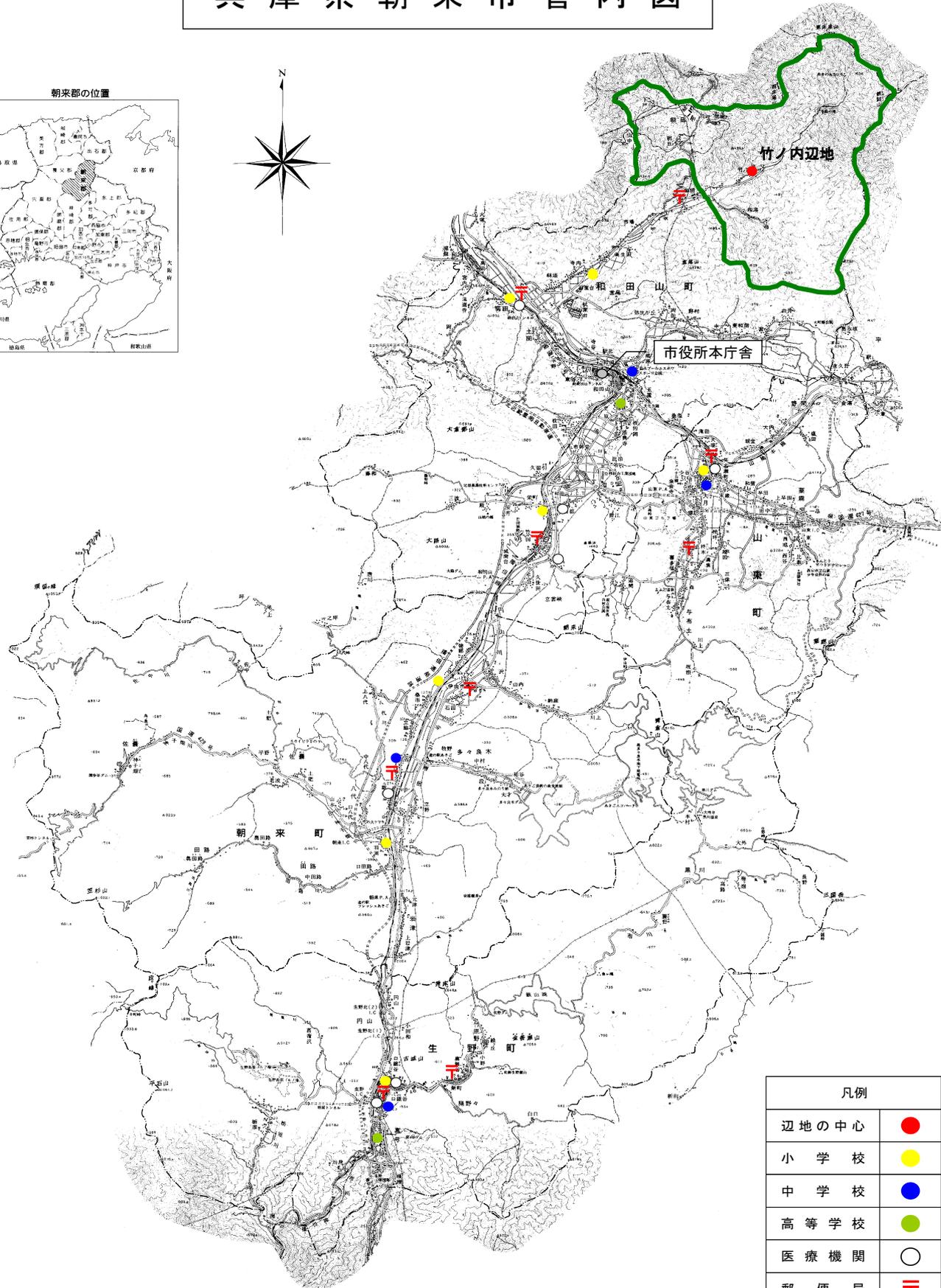
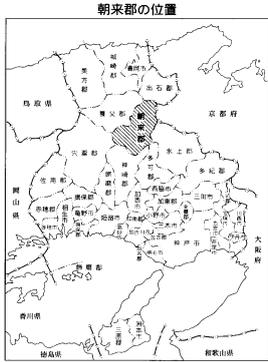
(単位:千円)

事業名	事業内容	全体			8年度			9年度			10年度						
		事業費	財源内訳		辺地対策 事業債	事業費	財源内訳		辺地対策 事業債	事業費	財源内訳		辺地対策 事業債				
			特定財源	一般財源			特定財源	一般財源			特定財源	一般財源					
市道和田竹ノ内線	道路改良 L=1000m W=7.0m	21,400		21,400	21,400	7,000		7,000	7,000	7,200		7,200	7,200	7,200		7,200	7,200
市道炭山谷線【炭山橋】	橋梁補修 L=17.5m W=4.8m	28,000	16,170	11,830	11,700	8,000	4,620	3,380	3,300	20,000	11,550	8,450	8,400				
合計		49,400	16,170	33,230	33,100	15,000	4,620	10,380	10,300	27,200	11,550	15,650	15,600	7,200		7,200	7,200

(記載要領)

- 1 辺地ごとに作成すること。
- 2 事業名には、具体的名称(町道〇〇線等)をあげること。
- 3 事業内容については、計画期間内のものを記載すること。
- 4 本表の辺地対策事業債の算出にあたっては、100%充当とすること。

# 兵庫県朝来市管内図



凡例	
辺地の中心	●
小学校	●
中学校	●
高等学校	●
医療機関	○
郵便局	〒
市役所	●

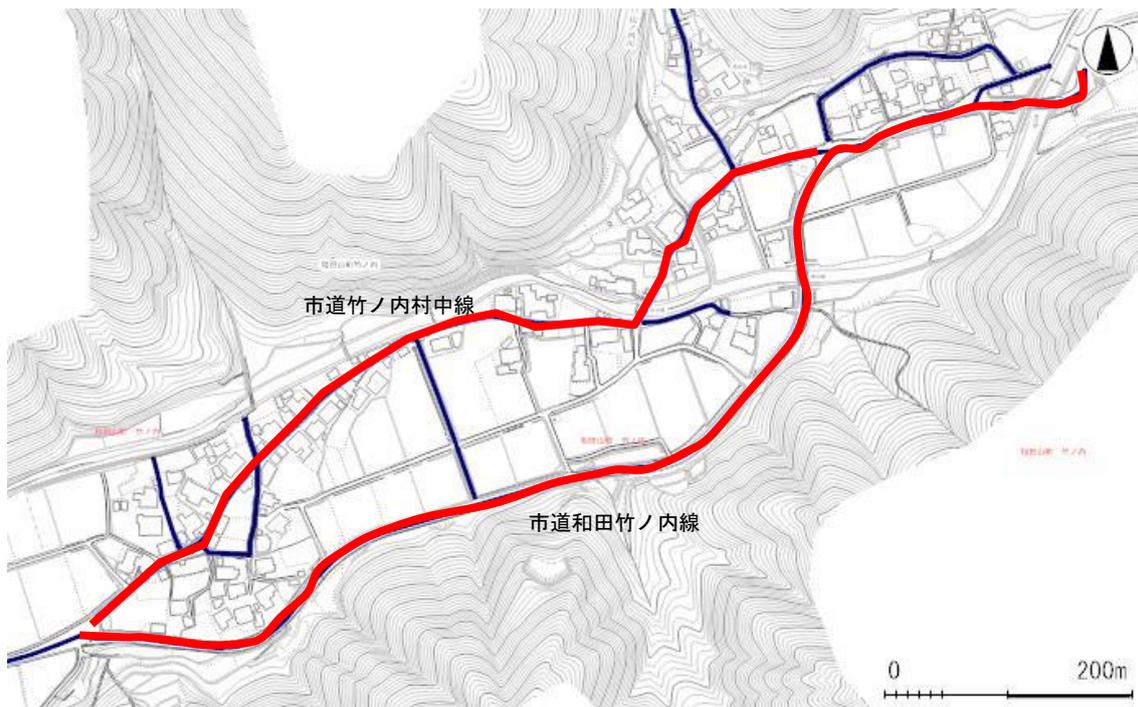
(別表第2)

辺地総合整備計画策定(変更)に係る理由書

市 町 名	朝来市	辺 地 名	竹ノ内
-------	-----	-------	-----

○市道和田竹ノ内線、市道竹ノ内村中線

舗装の路面の老朽化が著しく、車両及び歩行者の通行に支障をきたしているため本路線の舗装工事を実施する。



市道和田竹ノ内線



市道竹ノ内村中線



(記載要領)

まず、総論について記述し、その後各事業ごと（道路なら個別路線ごと）に、①必要性、②緊急性、③効果について詳述すること。

(別表第2)

辺地総合整備計画策定(変更)に係る理由書

市 町 名	朝来市	辺 地 名	竹ノ内
<p>○市道炭山谷線【炭山橋】</p> <p>市道橋【炭山橋】の老朽化が著しく、車両及び歩行者の通行に支障をきたしているため本橋梁の橋梁補修工事を実施する。</p>  <p>市道炭山谷線【炭山橋】</p> <p>市道炭山谷線【炭山橋】</p> 			

(記載要領)

まず、総論について記述し、その後各事業ごと(道路なら個別路線ごと)に、①必要性、②緊急性、③効果について詳述すること。

(資料1)

辺地総合整備計画策(改)定の概要調書

市町名: 朝来市 担当課名: 総合政策課 担当者名: 岡坂 拓実

事業名	施設規模・内容等	受益戸数	現状幅員	現状観光入込数	見込観光入込数	説明
市道和田竹ノ内線	道路改良 L=1000 W=7.0	72	7			市道の道路改良を実施することにより、安全で快適な交通環境を確保しつつ事故防止を図る。
市道炭山谷線【炭山橋】	橋梁補修 L=17.5m W=4.8m	18	4.8			市道橋の橋梁補修を実施することにより、橋梁の長寿命化を推進し、安全で快適な交通環境を確保しつつ事故防止を図る。

(記載要領)

- 1 策定及び辺地対策事業債の増減額に係る事業全て記入のこと。
- 2 受益戸数は観光レクリエーション事業を除く全ての事業について記入し、この事業により直接受益を受けるものを対象とする。
- 3 現状幅員は道路整備(農道及び林道を含む)に係る事業について記入すること。
- 4 現状観光入込数及び見込観光入込数は、観光レクリエーション施設の年間の入込客数を記入のこと。

## 朝 来 市 総 合 整 備 計 画

兵庫県朝来市和田山町芳賀野辺地  
(辺地の人口 70 人 面積 8.9 k m<sup>2</sup>)

### 1 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称      和田山町芳賀野、藤和
- (2) 地域の中心の位置                      朝来市和田山町岡 1067 番地 1
- (3) 辺地度数                                  113 点

### 2 公共的施設の整備を必要とする事情

当辺地は、旧和田山町域に位置する世帯数 29 戸の地域である。

当辺地において、市道の道路改良を実施することにより、安全で快適な交通環境を確保しつつ事故防止を図る。

### 3 公共的施設の整備計画

令和 8 年度から令和 10 年度までの 3 年間

(単位 千円)

施設名	事業主体	事業費	財源内訳		一般財源のうち ち辺地対策事業債の予定額
			特定財源	一般財源	
市道藤和線	朝来市	6,000		6,000	6,000
合 計		6,000		6,000	6,000

(別表第1) 年次別計画表

市町名 朝来市 辺地名 和田山町芳賀野辺地

(単位:千円)

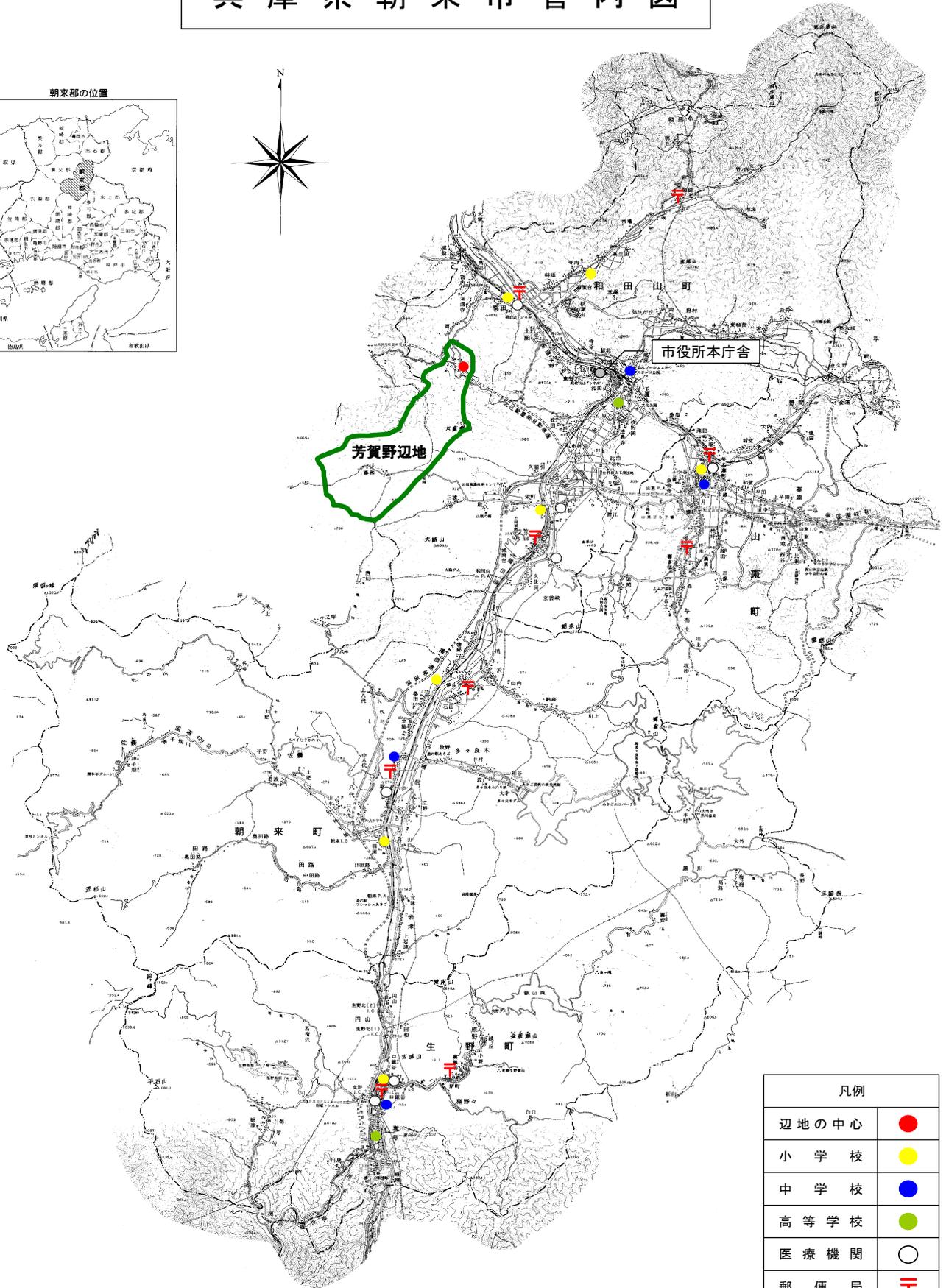
事業名	事業内容	全体			8年度			9年度			10年度					
		事業費	財源内訳		事業費	財源内訳		事業費	財源内訳		事業費	財源内訳				
			特定財源	一般財源		特定財源	一般財源		特定財源	一般財源		特定財源	一般財源			
市道藤和線	道路改良 L=250m W=4.0m	6,000		6,000	6,000				3,000		3,000	3,000	3,000		3,000	3,000
合 計		6,000		6,000	6,000				3,000		3,000	3,000	3,000		3,000	3,000

(記載要領)

- 1 辺地ごとに作成すること。
- 2 事業名には、具体的名称(町道○○線等)をあげること。
- 3 事業内容については、計画期間内のもを記載すること。
- 4 本表の辺地対策事業債の算出にあたっては、100%充当とすること。

# 兵庫県朝来市管内図

朝来郡の位置



凡例	
辺地の中心	●
小学校	●
中学校	●
高等学校	●
医療機関	○
郵便局	〒
市役所	●



(資料1)

辺地総合整備計画策(改)定の概要調書

市町名: 朝来市 担当課名: 総合政策課 担当者名: 岡坂 拓実

事業名	施設規模・内容等	受益戸数	現状幅員	現状観光入込数	見込観光入込数	説明
市道藤和線	道路改良 L=250 W=4.0	15	4			市道の道路改良を実施することにより、安全で快適な交通環境を確保しつつ事故防止を図る。

(記載要領)

- 1 策定及び辺地対策事業債の増減額に係る事業全て記入のこと。
- 2 受益戸数は観光レクリエーション事業を除く全ての事業について記入し、この事業により直接受益を受けるものを対象とする。
- 3 現状幅員は道路整備(農道及び林道を含む)に係る事業について記入すること。
- 4 現状観光入込数及び見込観光入込数は、観光レクリエーション施設の年間の入込客数を記入のこと。

## 朝 来 市 総 合 整 備 計 画

兵庫県朝来市山東町西谷辺地  
(辺地の人口 118 人 面積 1.4 k m<sup>2</sup>)

### 1 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称 山東町栗鹿 (西谷区・比叡区)
- (2) 地域の中心の位置 朝来市山東町栗鹿 2090 番地 4
- (3) 辺地度数 122 点

### 2 公共的施設の整備を必要とする事情

当辺地は、旧山東町域に位置する世帯数 55 戸の地域である。

当辺地において、市道の道路改良を実施することにより、安全で快適な交通環境を確保しつつ事故防止を図る。

### 3 公共的施設の整備計画

令和 8 年度から令和 10 年度までの 3 年間

(単位 千円)

施設名	事業主体	事業費	財源内訳		一般財源のうち ち辺地対策事業債の予定額
			特定財源	一般財源	
市道栗鹿大門線	朝来市	10,200		10,200	10,200
市道栗鹿櫛名谷線	朝来市	9,000		9,000	9,000
合 計		19,200		19,200	19,200

(別表第1)年次別計画表

市町名 朝来市

辺地名 西谷辺地

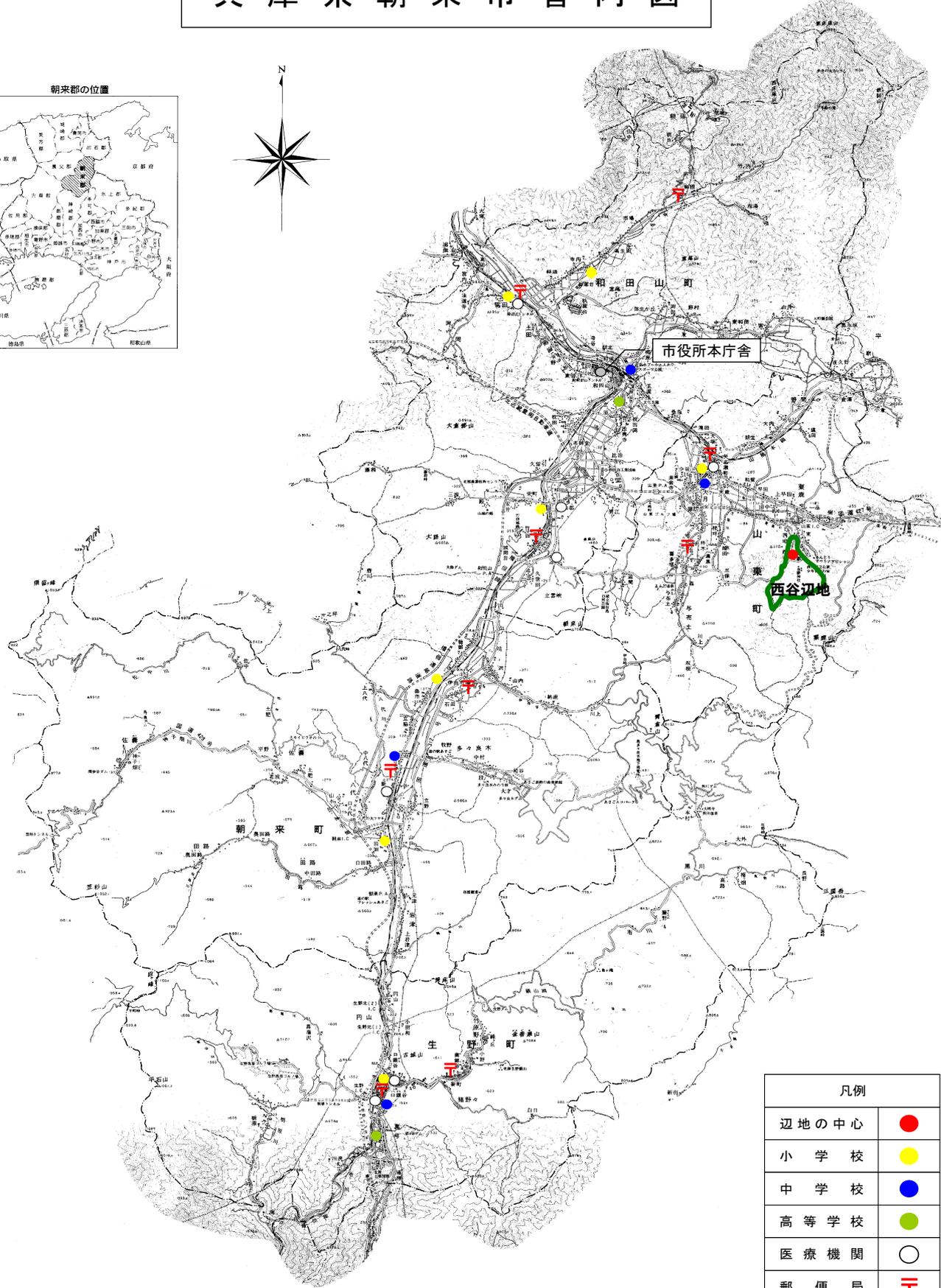
(単位:千円)

事業名	事業内容	全体			8年度			9年度			10年度						
		事業費	財源内訳		事業費	財源内訳		事業費	財源内訳		事業費	財源内訳					
			特定財源	一般財源		辺地対策事業債	特定財源		一般財源	辺地対策事業債		特定財源	一般財源	辺地対策事業債			
市道粟鹿・大門線	道路改良 L=540m W=4.0m	10,200		10,200	10,200	7,200		7,200	7,200	3,000		3,000	3,000				
市道粟鹿・櫛名谷線	道路改良 L=580m W=5.0m	9,000		9,000	9,000					3,000		3,000	3,000	6,000		6,000	6,000
合計		19,200		19,200	19,200	7,200		7,200	7,200	6,000		6,000	6,000	6,000		6,000	6,000

(記載要領)

- 1 辺地ごとに作成すること。
- 2 事業名には、具体的名称(町道〇〇線等)をあげること。
- 3 事業内容については、計画期間内のものを記載すること。
- 4 本表の辺地対策事業債の算出にあたっては、100%充当とすること。

# 兵庫県朝来市管内図



凡例	
辺地の中心	●
小学校	●
中学校	●
高等学校	●
医療機関	○
郵便局	〒
市役所	●

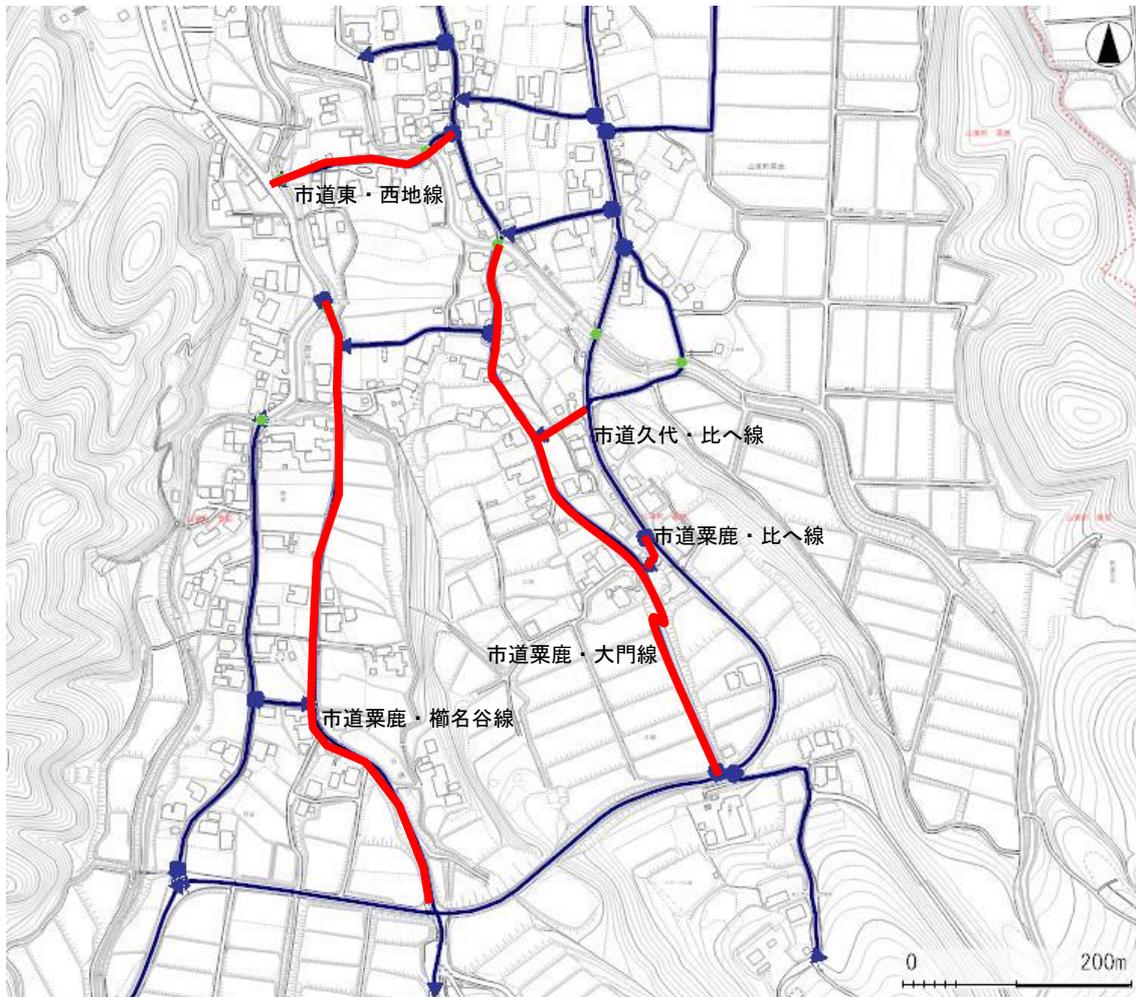
この地図は、国土地理院の地図を基に、朝来市の5分画に、標高図を併記したものである。\*（標高単位：m）

(別表第2)

辺地総合整備計画策定(変更)に係る理由書

市町名	朝来市	辺地名	西谷
-----	-----	-----	----

○市道粟鹿・大門線、市道粟鹿・櫛名谷線、市道久代・比へ線、市道粟鹿・比へ線、市道東・西地線  
舗装の路面の老朽化が著しく、車両及び歩行者の通行に支障をきたしているため本路線の舗装工事を実施する。



市道粟鹿・大門線



市道粟鹿・櫛名谷線



市道久代・比へ線



市道粟鹿・比へ線



市道東・西地線



(記載要領)

まず、総論について記述し、その後各事業ごと（道路なら個別路線ごと）に、①必要性、②緊急性、③効果について詳述すること。

(資料1)

辺地総合整備計画策(改)定の概要調書

市町名: 朝来市 担当課名: 総合政策課 担当者名: 岡坂 拓実

事業名	施設規模・内容等	受益戸数	現状幅員	現状観光入込数	見込観光入込数	説明
市道粟鹿・大門線	道路改良 L=540m W=4.0m	55	4			市道の道路改良を実施することにより、安全で快適な交通環境を確保しつつ事故防止を図る。
市道粟鹿・櫛名谷線	道路改良 L=580m W=5.0m	55	5			市道の道路改良を実施することにより、安全で快適な交通環境を確保しつつ事故防止を図る。

(記載要領)

- 1 策定及び辺地対策事業債の増減額に係る事業全て記入のこと。
- 2 受益戸数は観光レクリエーション事業を除く全ての事業について記入し、この事業により直接受益を受けるものを対象とする。
- 3 現状幅員は道路整備(農道及び林道を含む)に係る事業について記入すること。
- 4 現状観光入込数及び見込観光入込数は、観光レクリエーション施設の年間の入込客数を記入のこと。

## 朝 来 市 総 合 整 備 計 画

兵 庫 県 朝 来 市 土 肥 辺 地  
(辺地の人口 336 人 面積 38.1 k m<sup>2</sup>)

### 1 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称 土肥、老波、平野、神子畑、佐中、上八代
- (2) 地域の中心の位置 朝来市佐囊 891 番地 2
- (3) 辺地度数 151 点

### 2 公共的施設の整備を必要とする事情

当辺地は、旧朝来町域に位置する世帯数 151 戸の地域である。

当辺地において、市道の道路改良を実施することにより、安全で快適な交通環境を確保しつつ事故防止を図る。

また、さのう高原の観光施設に付随する水道施設や通信設備の整備・改修を行い、観光振興に繋げる。

### 3 公共的施設の整備計画

令和 8 年度から令和 10 年度までの 3 年間

(単位 千円)

施設名	事業主体	事業費	財源内訳		一般財源のうち ち辺地対策事業債の予定額
			特定財源	一般財源	
市道佐中線	朝来市	15,000		15,000	15,000
さのう高原整備事業	朝来市	3,980		3,980	2,000
合 計		18,980		18,980	17,000

(別表第1)年次別計画表

市町名 朝来市

辺地名 土肥辺地

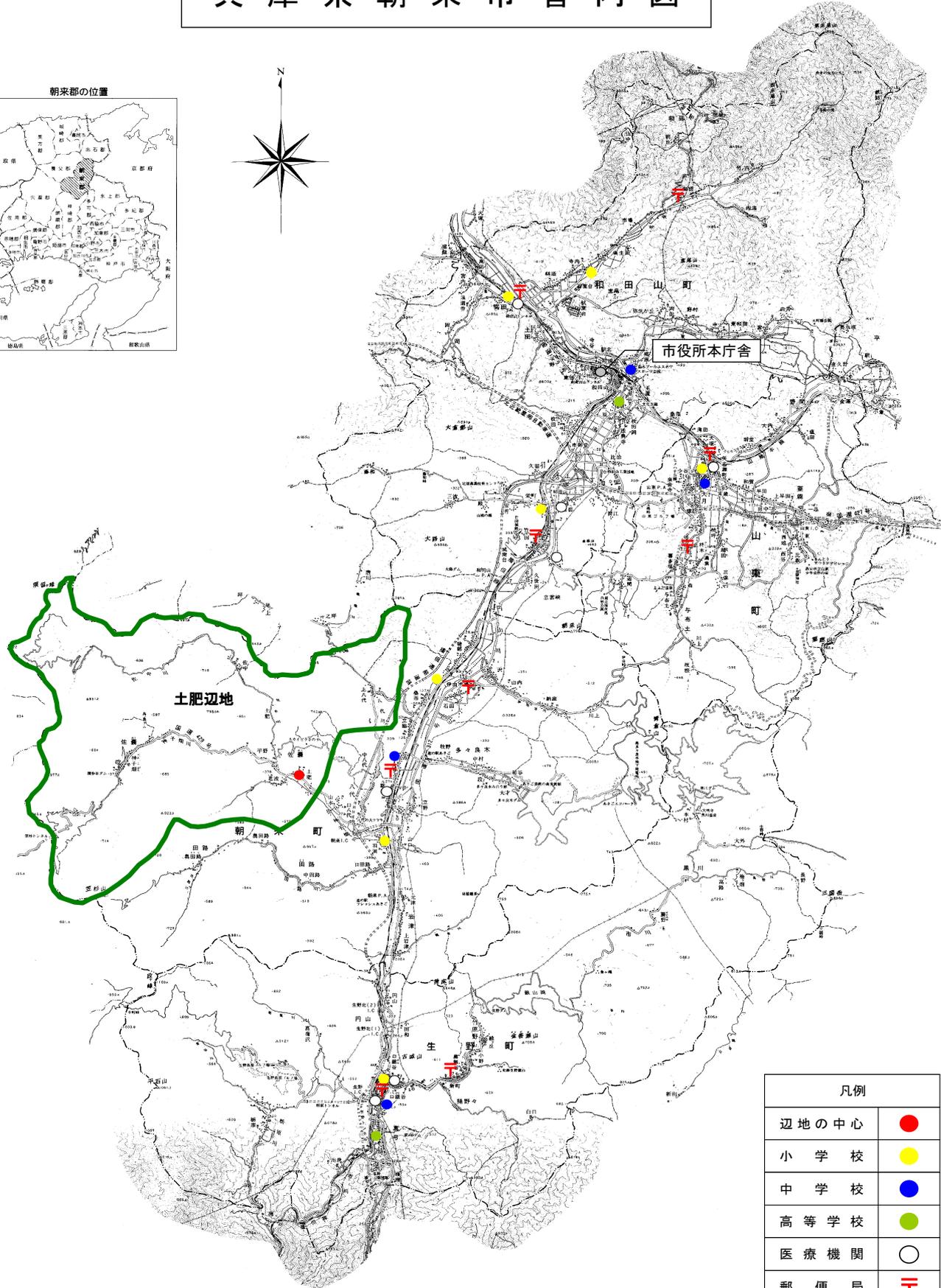
(単位:千円)

事業名	事業内容	全体			8年度			9年度			10年度						
		事業費	財源内訳		事業費	財源内訳		事業費	財源内訳		事業費	財源内訳					
			特定財源	一般財源		辺地対策事業債	特定財源		一般財源	辺地対策事業債		特定財源	一般財源	辺地対策事業債			
市道佐中線	道路改良 L=5300m W=4.0m	15,000		15,000	15,000			5,000	5,000		5,000			5,000			5,000
さのう高原整備事業	営農飲雑用水施設自動通報装置機能増強工事	3,980		3,980	2,000			1,980			1,000			1,000			1,000
合 計		18,980		18,980	17,000			6,980			6,000			6,000			6,000

(記載要領)

- 1 辺地ごとに作成すること。
- 2 事業名には、具体的名称(町道〇〇線等)をあげること。
- 3 事業内容については、計画期間内のものを記載すること。
- 4 本表の辺地対策事業債の算出にあたっては、100%充当とすること。

# 兵庫県朝来市管内図

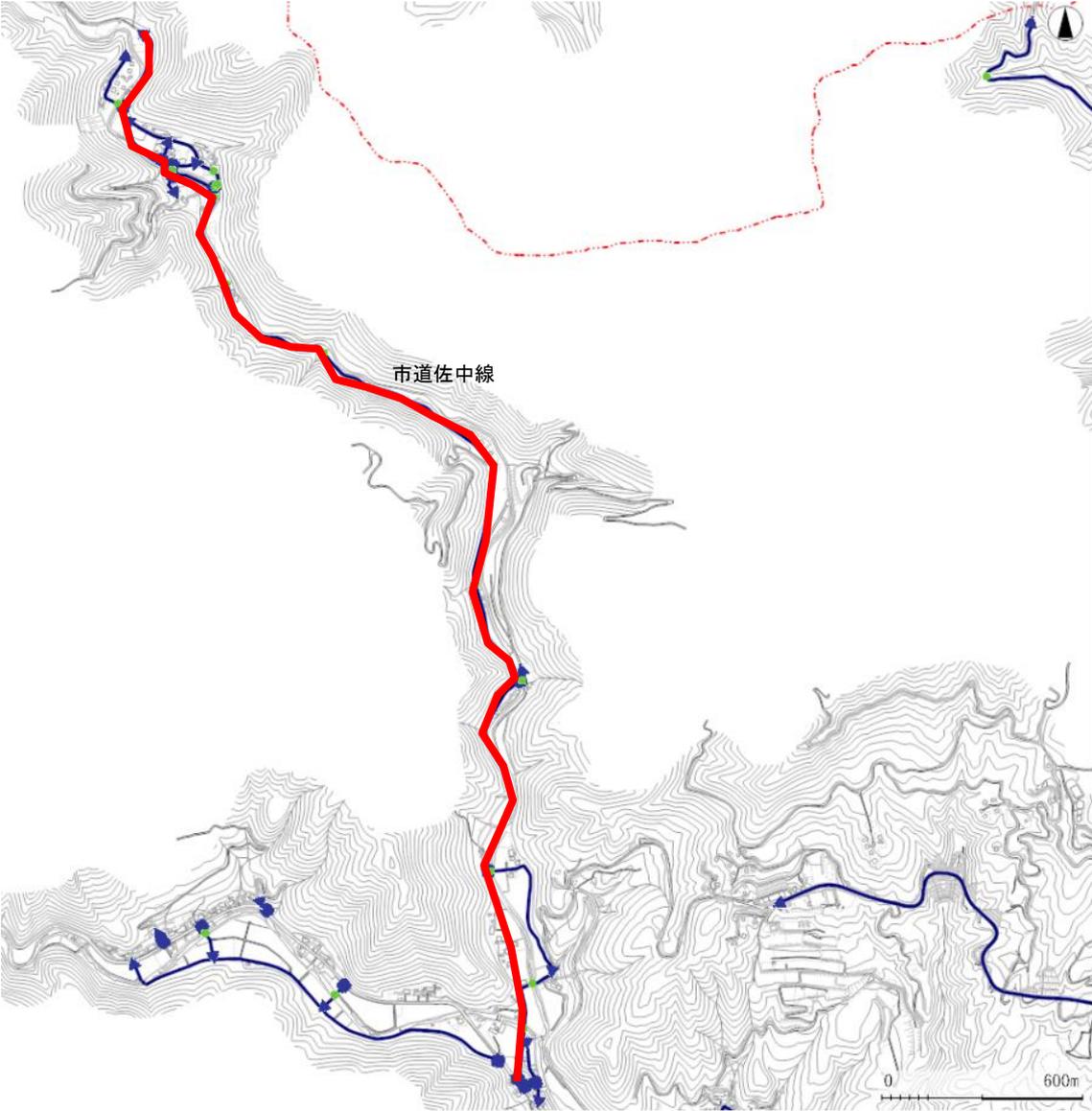


凡例	
辺地の中心	●
小学校	●
中学校	●
高等学校	●
医療機関	○
郵便局	〒
市役所	●

この図は、国土地理院の地図を基に、関係機関の協力により、最新情報を反映したものである。【登録番号：朝来市役所製図】

(別表第2)

辺地総合整備計画策定(変更)に係る理由書

市 町 名	朝来市	辺 地 名	土肥
<p>○市道佐中線</p> <p>舗装の路面の老朽化が著しく、車両及び歩行者の通行に支障をきたしているため本路線の舗装工事を実施する。</p> 			

市道佐中線



(記載要領)

まず、総論について記述し、その後各事業ごと（道路なら個別路線ごと）に、①必要性、②緊急性、③効果について詳述すること。

(別表第2)

辺地総合整備計画策定(変更)に係る理由書

市 町 名	朝来市	辺 地 名	土肥
<p>さのう高原の利用者は、集団での利用から個別での利用へと変化し、増加している。施設利用者の要望も踏まえて、設備機能を増強することにより、更なる快適な環境の維持、受け入れ体制の充実を図る。</p>			

(記載要領)

まず、総論について記述し、その後各事業ごと(道路なら個別路線ごと)に、①必要性、②緊急性、③効果について詳述すること。

(資料1)

辺地総合整備計画策(改)定の概要調書

市町名: 朝来市 担当課名: 総合政策課 担当者名: 岡坂 拓実

事業名	施設規模・内容等	受益戸数	現状幅員	現状観光入込数	見込観光入込数	説明
市道佐中線	道路改良 L=5300m W=4.0m	12	4			市道の道路改良を実施することにより、安全で快適な交通環境を確保しつつ事故防止を図る。
さのう高原整備事業	営農飲雑用水施設自動 通報装置機能増強工事			2,886	3,030	さのう高原の水道設備に異常が生じた場合の通報について、異常種別に応じた通報を可能にし、かつ通報方法を電話からメールに切り替えることで、保守工事費の削減や通信費の節減を図る。

(記載要領)

- 1 策定及び辺地対策事業債の増減額に係る事業全て記入のこと。
- 2 受益戸数は観光レクリエーション事業を除く全ての事業について記入し、この事業により直接受益を受けるものを対象とする。
- 3 現状幅員は道路整備(農道及び林道を含む)に係る事業について記入すること。
- 4 現状観光入込数及び見込観光入込数は、観光レクリエーション施設の年間の入込客数を記入のこと。

## 朝 来 市 総 合 整 備 計 画

兵 庫 県 朝 来 市 中 田 路 辺 地  
(辺地の人口 70 人 面積 10.6 k m<sup>2</sup>)

### 1 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称      中田路、奥田路
- (2) 地域の中心の位置                      朝来市田路 385 番地 1
- (3) 辺地度数                                  126 点

### 2 公共的施設の整備を必要とする事情

当辺地は、旧朝来町域に位置する世帯数 32 戸の地域である。

当辺地において、市道の道路改良を実施することにより、安全で快適な交通環境を確保しつつ事故防止を図る。

### 3 公共的施設の整備計画

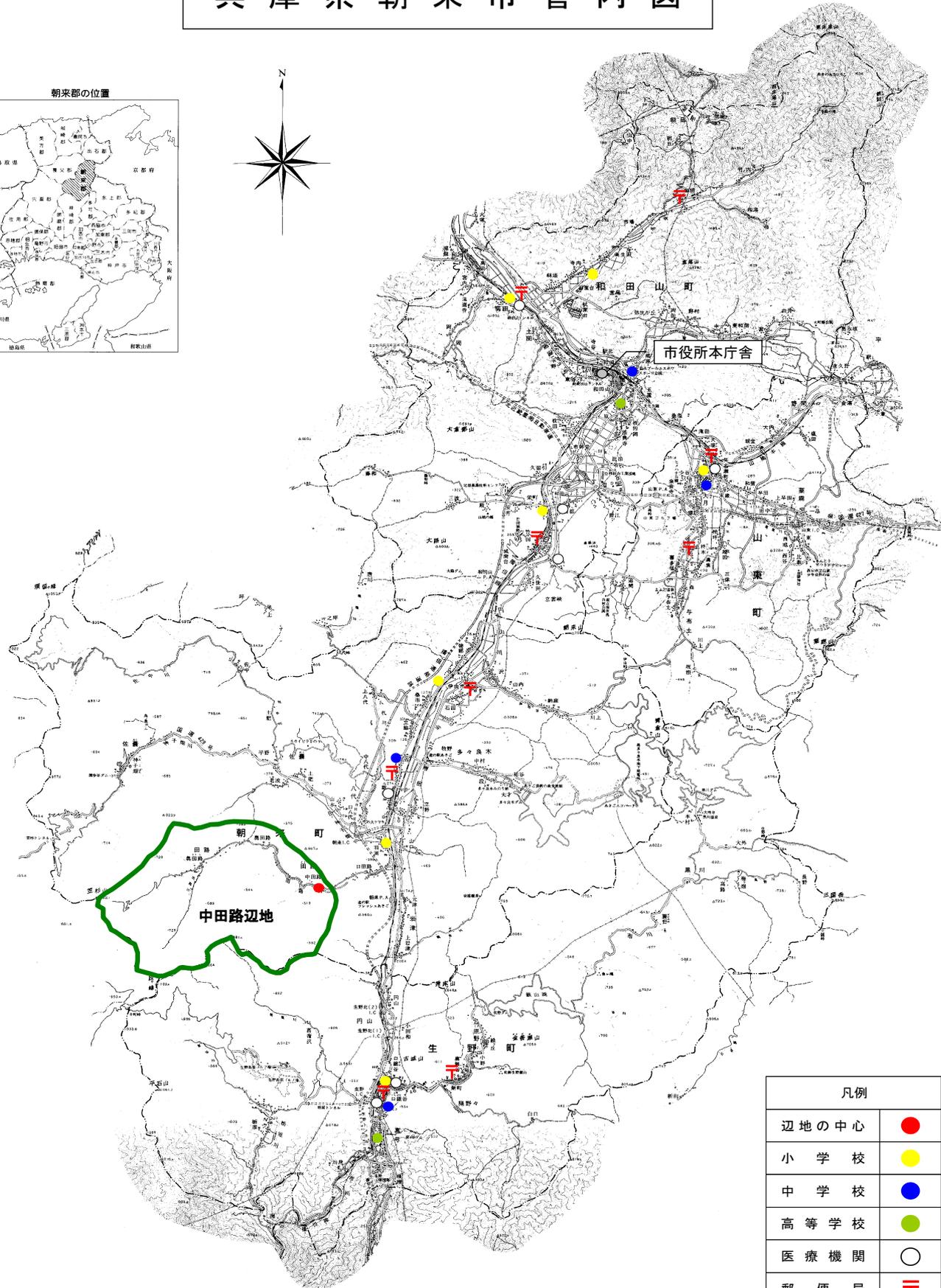
令和 8 年度から令和 10 年度までの 3 年間

(単位 千円)

施設名	事業主体	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の 予定額
			特定財源	一般財源	
市道田路線	朝来市	18,000		18,000	18,000
合 計		18,000		18,000	18,000



# 兵庫県朝来市管内図

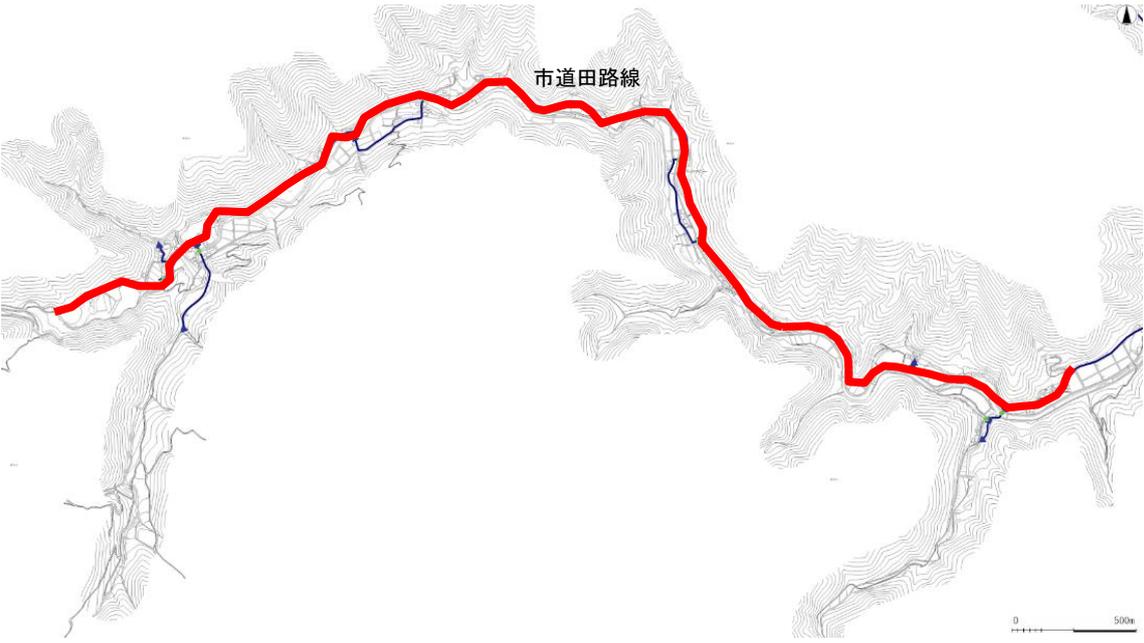


凡例	
辺地の中心	●
小学校	●
中学校	●
高等学校	●
医療機関	○
郵便局	〒
市役所	●

この図は、国土地理院の地図を基に、関係機関の協力により、最新情報を反映したものである。【登録番号：朝来市役所製】

(別表第2)

辺地総合整備計画策定(変更)に係る理由書

市 町 名	朝来市	辺 地 名	中田路
<p data-bbox="225 416 395 450">○市道田路線</p> <p data-bbox="252 465 1295 544">舗装の路面の老朽化が著しく、車両及び歩行者の通行に支障をきたしているため本路線の舗装工事を実施する。</p>  <p data-bbox="225 1279 368 1312">市道田路線</p> 			

(記載要領)

まず、総論について記述し、その後各事業ごと(道路なら個別路線ごと)に、①必要性、②緊急性、③効果について詳述すること。

(資料1)

辺地総合整備計画策(改)定の概要調書

市町名: 朝来市 担当課名: 総合政策課 担当者名: 岡坂 拓実

事業名	施設規模・内容等	受益戸数	現状幅員	現状観光入込数	見込観光入込数	説明
市道田路線	道路改良 L=2000m W=6.0m	32	6			市道の道路改良を実施することにより、安全で快適な交通環境を確保しつつ事故防止を図る。

(記載要領)

- 1 策定及び辺地対策事業債の増減額に係る事業全て記入のこと。
- 2 受益戸数は観光レクリエーション事業を除く全ての事業について記入し、この事業により直接受益を受けるものを対象とする。
- 3 現状幅員は道路整備(農道及び林道を含む)に係る事業について記入すること。
- 4 現状観光入込数及び見込観光入込数は、観光レクリエーション施設の年間の入込客数を記入のこと。

# 朝来市総合整備計画

兵庫県朝来市多々良木冷田辺地  
(辺地の人口 218 人 面積 50.5 k m<sup>2</sup>)

## 1 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称 多々良木冷田、崩、大才、段、倉谷、灰原、和谷、中村、塚原、タコタ、大谷、南谷、見才谷、松尾谷、向山、生野町黒川
- (2) 地域の中心の位置 朝来市多々良木 690 番地 4
- (3) 辺地度点数 116 点

## 2 公共的施設の整備を必要とする事情

当辺地は、旧朝来町域及び旧生野町域に位置する世帯数 94 戸の地域である。

当辺地において、黒川温泉のボイラー 2 基を更新し、経費節減を図るほか、施設の機能維持を図る。

また、多々良木交流館において、ドームハウスや管理棟等の機能向上を図る修繕や工事を行い、利用者及び宿泊者の増加につなげる。

## 3 公共的施設の整備計画

令和 8 年度から令和 10 年度までの 3 年間

(単位 千円)

施設名	事業主体	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の 予定額
			特定財源	一般財源	
多々良木交流館周辺整備事業	朝来市	3,660		3,660	2,500
黒川温泉整備事業	朝来市	15,700		15,700	15,700
合 計		19,360		19,360	18,200

(別表第1)年次別計画表

市町名 朝来市

辺地名 多々良木冷田辺地

(単位:千円)

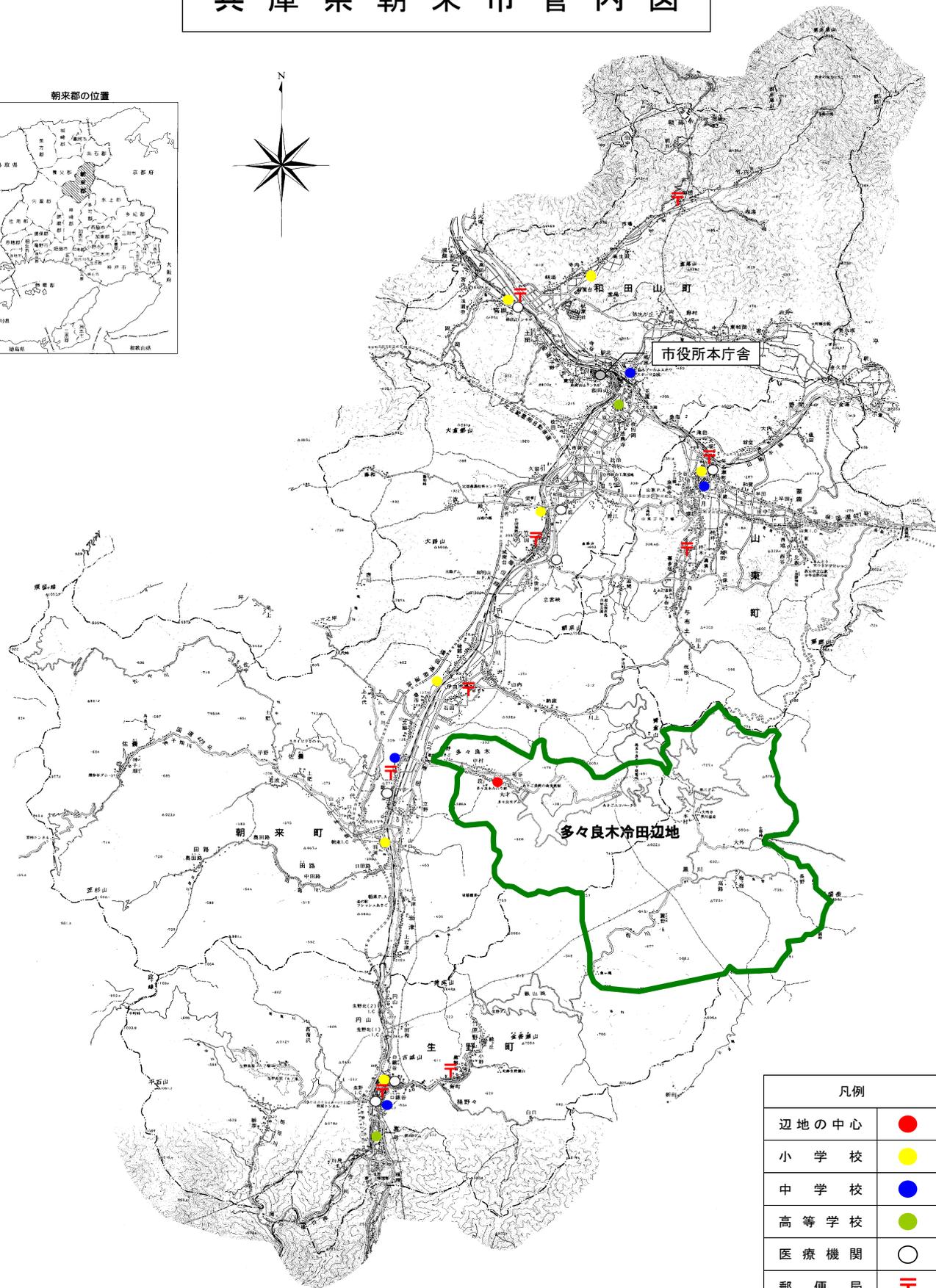
事業名	事業内容	全体			8年度			9年度			10年度						
		事業費	財源内訳		事業費	財源内訳		事業費	財源内訳		事業費	財源内訳					
			特定財源	一般財源		辺地対策事業債	特定財源		一般財源	辺地対策事業債		特定財源	一般財源	辺地対策事業債			
多々良木交流館周辺整備事業	汚水柵改修工事、照明器具LED化改修工事	3,660		3,660	2,500	1,130		1,130		1,100		1,100	1,100	1,430		1,430	1,400
黒川温泉整備事業	ボイラー2基改修工事	15,700		15,700	15,700	12,700		12,700	12,700	1,500		1,500	1,500	1,500		1,500	1,500
合 計		19,360		19,360	18,200	13,830		13,830	12,700	2,600		2,600	2,600	2,930		2,930	2,900

(記載要領)

- 1 辺地ごとに作成すること。
- 2 事業名には、具体的な名称(町道〇〇線等)をあげること。
- 3 事業内容については、計画期間内のものを記載すること。
- 4 本表の辺地対策事業債の算出にあたっては、100%充当とすること。

# 兵庫県朝来市管内図

朝来郡の位置



凡例	
辺地の中心	●
小学校	●
中学校	●
高等学校	●
医療機関	○
郵便局	〒
市役所	●

(別表第2)

辺地総合整備計画策定(変更)に係る理由書

市 町 名	朝来市	辺 地 名	多々良木冷田
<p>COCODE、ドームハウスの利用者は、集団での利用から個別での利用へと変化し、増加している。施設利用者の要望も踏まえて、設備機能を改善することにより受け入れ体制の充実を図る。</p> <p>黒川地域についても、令和7年度は観光客も含めて人の移動が活発になり、訪れるお客様も増加傾向にあることから、秘湯である黒川温泉を訪れるお客様に対してボイラー設備の機能を改善・向上することにより受け入れ体制の充実を図る。</p>			
			

(記載要領)

まず、総論について記述し、その後各事業ごと(道路なら個別路線ごと)に、①必要性、②緊急性、③効果について詳述すること。

(資料1)

辺地総合整備計画策(改)定の概要調書

市町名: 朝来市 担当課名: 総合政策課 担当者名: 岡坂 拓実

事業名	施設規模・内容等	受益戸数	現状幅員	現状観光入込数	見込観光入込数	説明
多々良木交流館周辺整備事業	汚水桝改修工事、照明器具LED化改修工事			2,847	2,989	ドームハウスの下水道管が詰まり逆流するのを防ぐため、管内部を洗浄する。また、蛍光灯の生産終了に伴い、管理棟フロントと談話室の照明器具を蛍光灯からLEDに交換する。
黒川温泉施設改修事業	ボイラー2基改修工事			24,972	26,220	ボイラー2基を更新し、経費節減を図る。

(記載要領)

- 1 策定及び辺地対策事業債の増減額に係る事業全て記入のこと。
- 2 受益戸数は観光レクリエーション事業を除く全ての事業について記入し、この事業により直接受益を受けるものを対象とする。
- 3 現状幅員は道路整備(農道及び林道を含む)に係る事業について記入すること。
- 4 現状観光入込数及び見込観光入込数は、観光レクリエーション施設の年間の入込客数を記入のこと。